

平成19年のはじめに

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター

理事長 井上 滉

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが発足して2年目を迎えます。都民の皆様へスピードとサービスの質の向上の提供、そして、事業化・製品化のご支援を当センターの運営の方針として進めてまいりました。そして職員一同、都民の皆様を大事なお客様として接してまいりました。今年もいっそう、都民の皆様喜んでいただき、頼りにされるようになりたいと思っています。

都内中小ものづくり企業の方々がいっそう発展され東京都の産業が強くなるために、その一つの支援策として、昨年9月に、西が丘本部に「デザインセンター」を開設いたしました。製品の性能や信頼性、使い勝手や外観を設計デザインする機器を導入し、新たな職員も配置しました。CAD・CAE・高速造形機、グラフィックデザインCAD・プリンターなどを備えました。高い性能や嬉しくなる機能を包含し、外観も美しく使う人の心を捉える商品は、競争力を高め、そしてその商品を生み出す企業のイメージも向上し、やがては定着した企業ブランドを生み出します。これからはこのような商品のデザイン力が牽引役になると思います。このようなお手伝いを始めています。

また、「なんにでも応じます」の気持ちで、皆様のニーズに応じたオーダーメイド依頼試験、オーダーメイド・セミナーをお受けし、好評を得ています。

平成19年度の東京都の七つの重点施策の一つ「東京の経済を牽引する新たな産業を支援」の中の重点事業に、「戦略的産業力強化プロジェクト」があり、産業のイノベーションを引き起こす支援拠点整備と環境産業創生プロジェクトを開始しました。

イノベーションはそれを生み出す知恵が集まり、かつ、交わる場の提供が大事だと思います。そのために、区部と多摩地区に新たな最新鋭の機能を備えた施設整備を行います。また、全国の大学の知恵が集う産学公のハブとなる「場」の提供もいたします。

東京という世界最大の都市を、世界で最もきれいな空気がある産業都市にしようとの思いで、空気と土地の浄化技術の開発を行う、国と東京都による大プロジェクトも開始しました。あわせて、新たな環境、健康などの分野での新産業を創出するよう、都内の大学の知恵、都内中小企業の技術力を融合させて、このプロジェクトを推し進めていきます。

また、埼玉県、千葉県、神奈川県との1都3県によるワンストップサービス「首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ」もホームページ上で運営を始めて3年になります。首都圏に広がる企業の方の実情に合わせて、いっそう利便性を高めていきたいと思っています。

スピードとサービスの質の向上のもとに、愛される産技研、感謝される産技研、尊敬される産技研を目指します。

